

REINMEI

一般社団法人日本PVプランナー協会会報誌

黎明 Vol.42
2026初夏号

Contents

- 協会ホームページ改定のお知らせ
- 分科会WEBセミナーの開催報告と予定
- 地区会レポート
近畿・北陸地区会／中国・四国地区会
関東地区会／東北地区会／中部地区会
- 会員企業紹介
(株)エイワット
(株)スマートアース
GXエンジニアリング(株)
BLUERAY(株)

一般社団法人 日本 PVプランナー協会 理念

私たちは、太陽光発電のEPC・O&M事業者の団体として、2050年の脱炭素社会の実現に向け、太陽光発電の健全な市場発展に努めます。

その為には

- 1、太陽光発電の長期安定電源・主力電源化に貢献します。
- 1、事業者団体としての政策提言や意見の発信を行います。
- 1、PVプランナー、PVシステムインテグレーター、O&M技術者の育成を行います。
- 1、資格認定や技術研修会により、施工技術を確立し、会員施工ネットワークを構築します。
- 1、施工・保守点検技術と太陽光発電に関連する周辺技術の向上を図り、安全・安心な太陽光発電設備を提供します。
- 1、会員同士の交流を図り、お互いの知見を共有できる環境の向上を図ります。
- 1、Webサイト等を通じた正しい情報の発信に努めます。

これらの活動を通じて、次世代に繋がる持続可能で豊かな社会を作ることを目指してゆきます。

会報誌発行の変更

前号の巻末でもお伝えしましたが、2026年から会報誌発行を年3回に変更し、1月新年号、6月初夏号、10月秋号としております。

また、当協会に届きました情報誌は単独で郵送いたします。

- ・2026年3月末 経産省小規模事業用規制制度の小冊子
- ・2026年5月末 ソーラージャーナル蓄電池創刊号

今後も会員様に必要な情報誌は郵送予定です。どうぞ宜しくお願いいたします。

事務局だより

4月下旬、家族から突然「どこか旅行に行きたい」との声が上がりました。今から予約なんて無理だろうと思いつつ旅行会社のサイトを開くと、目に飛び込んできたのは“行先不明・時間不明・集合場所不明”のミステリーツアー。出発は3日後、残席4。勢いで申し込み、家族で参加することにしました。

当日、バスに乗ってようやく行き先が判明。国立ひたち海浜公園と大洗水族館でした。公園に着くと、ネモフィラ目当ての人で大混雑。皆さんが丘を目指して早歩きする中、私たちは「混む前に昼食を確保しよう」と屋台へ直行。ハム串焼き、豚ドッグ、

つくね棒、たわら焼きおにぎり…と、気になるものを次々と買い込みました。

その後、小雨が降り出したのでテントに避難。外で行列が伸びていくのを眺めながら、ゆっくり昼食を楽しむことができました。行き当たりばったりの旅でしたが、思いがけない楽しさに満ちた一日となりました。

(佐野)



ネモフィラ畑

お問い合わせは…

地域共生型への重点化

一般社団法人日本PVプランナー協会 専務理事 馬上丈司



昨今のイラン情勢を受けた国際的なエネルギー供給網の混乱が生じる中で、IEA PVPSのレポートによれば世界の太陽光発電の導入量は今年3TWを超えたとみられます。2022年には1TWを超えたことが話題になりましたが、わずか3年で3倍に増加しました。年間導入量は700GWに迫る勢いで、太陽光発電が人類社会の主力電源となる時代はすでに到来したといえるでしょう。

一方で、国内では昨年末に政府のメガソーラー対策パケッ

ジが公表されてから半年が経ち、いわゆる「メガソーラー規制」にあたる法令改正などとともに「地域共生型への重点化」に向けた新たな取組みが進められています。わが国の太陽光発電の年間導入量は世界の国別トップ10から陥落し、累積導入量こそ5位を保っていますが、世界的な導入拡大のトレンドからは取り残されつつあります。

太陽光発電の地域共生は不可欠ですが、脱炭素社会の実現に向けた必要量をしっかりと確保していくためのスピード感を持った導入も欠かせません。これからの太陽光発電の普及はどうか、皆さまと一緒に考えていきたいと思ひます。



一般社団法人 日本 PVプランナー協会

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町3丁目2番13号

秋和ビル202号室

TEL : 03-6256-9970 / FAX : 03-6256-9971

Web <https://pv-planner.or.jp>

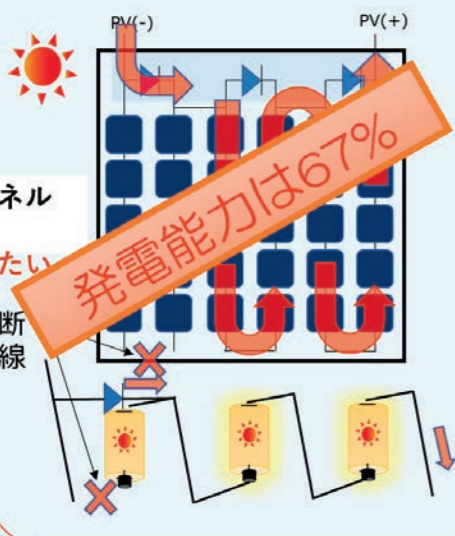
Mail support@pv-planner.or.jp

制作・編集：(株)電設出版

最小限の労力で パネルを 無償交換する方法



太陽電池パネルに断線や高抵抗が生じている場合(故障)

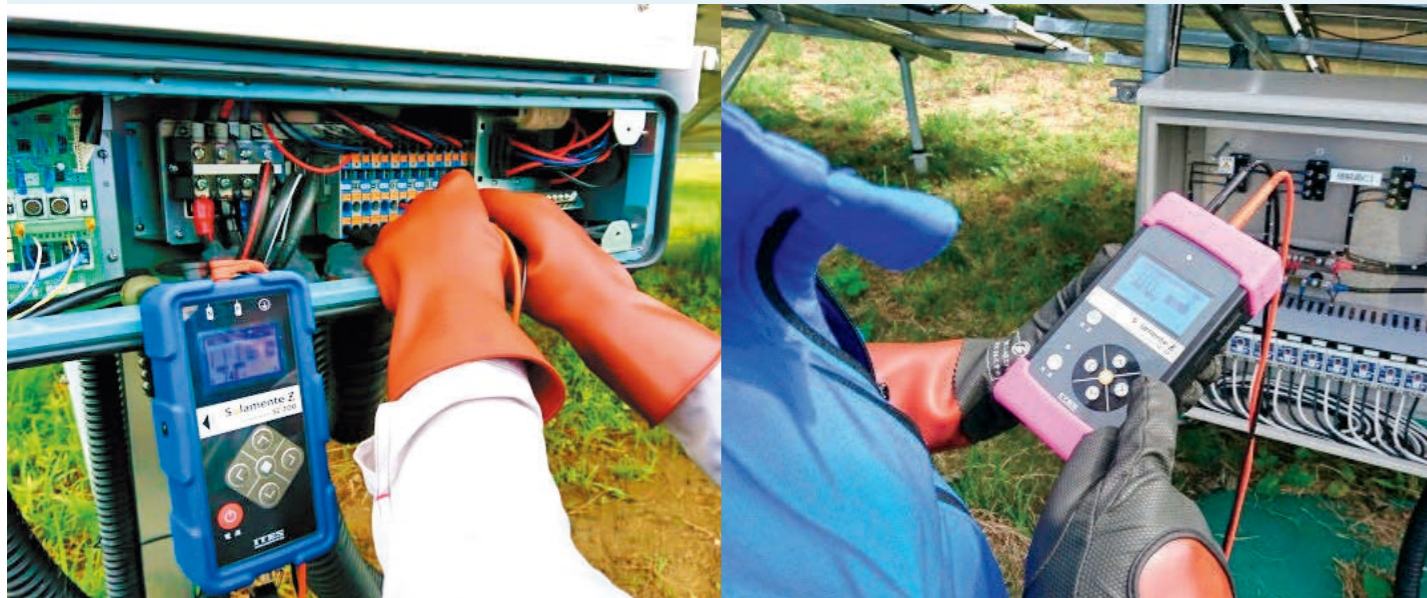


Solamente

太陽光パネルのメンテナンスツールは ソラメンテ

お問い合わせ TEL. 03-3255-8035
 東洋計測器株式会社 FAX. 03-3255-8076
 〒101-0021 東京都千代田区外神田1-3-12 計測器ランドビル
 URL: <https://www.keisokuki-land.co.jp/>

株式会社 アイテス
 〒520-2151 滋賀県大津市栗林町1番60号
 製品開発 TEL.077-599-5040 FAX.077-544-7712
 URL: <https://www.solamente.biz/> e-mail: sales02@ites.co.jp



2026年3月より
当協会のホームページが大きく進化しました!



会員専用

クリックするとパスワード入力画面になります。
入力すると(1)(2)(3)(4)の項目が出ます。

※パスワードにつきましては、事務局より更新情報とともにメール配信しております

会員専用ページ

(1) 法人内部書類 >

→協会の内部書類を確認できます
理念、社団法人法、定款、各種規約、事業計画、収支計画等。

(2) 施工ネットワーク(施工発注⇄受注用) >

→自家消費太陽光発電の施工可能会員の一覧表
施工可能エリアごとに記載し、実用的には2年後の完成を目指しています。

(3) 経産省審議会(太陽光発電関連) >

→経産省審議会等情報を昨年のもともと今年度の月別に掲載
審議会が年明けから始まり6月過ぎに来年度の動向がみえてきます。
おおよそ11月~2月に4月から施行される内容が決定します。

(4) 会員企業社員研修用(映像+資料) >

→年間25回前後開催される地区会・WEBセミナーの
映像と資料を項目別に納めています
参加できなかった地区会やWEBセミナーを後日視聴できます。
会議などの席でモニターなどで皆様でご視聴いただけます。

省庁及び
民間ガイドライン

クリックすると以下にアクセスできます。

省庁及び民間ガイドライン

経済産業省ガイドライン等&関連する民間の資料

2024年12月05日

【経済産業省ガイドライン等及び関連する民間の資料】 NEW

環境省ガイドライン等&関連する民間の資料

2024年12月05日

【環境省ガイドライン等&関連する民間の資料】

農林水産省ガイドライン等&関連する民間の資料

2024年12月06日

【農林水産省ガイドライン等&関連する民間の資料】

→正式名称が分らないと
出てこない公式資料を
収めています

分科会WEBセミナー開催報告と開催計画

※分科会では、理事・エリアマネージャーが項目ごとに集まりセミナー内容について意見を出し合います。
分科会WEBセミナーとして開催しています。

内容	参加者
2月25日(水) 分科会 WEB セミナー 1部：省令改正にともなう発電所立ち入り検査に対応するO&Mのご提案 2部：4月に改正される省エネ法：工場等屋根設置パネル数量の報告	21名
3月18日(水) 分科会 WEB セミナー 高校生新卒採用の具体的方法とサポートについて	17名
4月16日(木) 分科会 WEB セミナー 1部：太陽光パネルリユース・リサイクルセミナー 2部：受給調整市場における低圧リソースの参入とアグリゲーションビジネス	80名
4月23日(木) 分科会 WEB セミナー アグリゲーターによる低圧FIP転+蓄電池の展開について	60名
5月14日(木) 分科会 WEB セミナー 新入社員研修会：日本のエネルギー施策と太陽光発電の未来について	48名
5月21日(木) 分科会 WEB セミナー 低圧太陽光発電所補償制度説明会（保険に代わる補償制度） M&Aをゼロから理解するための基礎知識 & 実態について	34名
5月28日(木) 分科会 WEB セミナー 低圧系統蓄電池について～市場性と課題	67名
6月3日(水) 分科会 WEB セミナー Ai×太陽光 EPC：少数精鋭で利益を最大化する組織の作り方 望ましい営農型太陽光発電とヤンマー様、東北電力様の参入や未来展望	16名
6月23日(火) 分科会 WEB セミナー 中小企業の自家消費太陽光設置支援～15年割賦によるROOF PLUS制度について J-クレジットの勤め～中小企業の脱炭素を支援・クレジットの地産地消について	—
6月～7月開催計画 営農型太陽光発電トラブル事例と対処事例	—
7月開催計画 建物設置太陽光発電の設計施工ガイドラインのポイント解説	—
9月末開催計画 令和8年度概算要求予算（各省庁）	—

地区会レポート

近畿・北陸地区会 大阪市開催（2026年2月20日）

参加者
23名

大阪市の新大阪丸ビル別館にて開催いたしました。開会にあたり青木エリアマネージャーより開会の挨拶がありました。



青木エリアマネージャー



(株)エコステーション
渡邊氏



(株)スマ家サポート
松山氏

第1部は中国・四国エリア会員の(株)エコステーション渡邊結衣氏からO&Mの取組みに対する日頃の営業活動についてのお話がありました。「エコロメンテナンスとは、パネル洗浄・ドローン点検・精密検査・除草です。その際、ドローン点検による報告書を提出することで、リパワリングの案件も受注しています。メンテナンスで訪問し関係性を構築することで、リパワリング・PCS交換・出力制御機器導入・蓄電池設置・自家消費案件・セカンダリー等の受注につなげます。メンテナンスをやっているからこそ他社とは違った提案ができます。コンセプトは「発電量最大化」です。営業提案、施工、メンテナンスを内製化し、高圧電気工事やリパワリングの実績もあるので、他社とは差別化ができています」と説明がありました。

第2部は近畿・北陸エリア会員(株)スマ家サポートの松山喜洋氏から「住宅用太陽光発電の集客と提案」に対する営業活動についてのお話がありました。

「太陽光発電設備、蓄電池、エコキュートの販売・施工・メンテナンスを一貫体制で請け負い、信頼を築いてきました。主な販売手法は訪問と催事イベントです。メインターゲットは、30代～40代の子育て世代で、抱えている悩みが光熱費の高騰、子供の成長にともなう教育費や生活費増加、災害時の家族の安全と電力確保であるため、太陽光発電、蓄電池、エコキュートを導入し「電気を自給自足」することを提案しています。訪問先のエリアは、重点加速化事業補助金のある地域です。訪問販売の本来の価値と役割は、待ちでは救えない層へのアプローチ・導入のきっかけを提供することにあります。「スマ家サポートなら安心」という信頼が大手企業との長期的な関係を支えています」という内容でした。

最後に事務局より「2025年度審議会報告からみる2026年度の施策について」、「3月から変わる協会ホームページについて」の説明がありました。

地区会レポート

中国・四国地区会 岡山市開催 (2026年2月27日)

参加者
22名

岡山市の岡山国際交流センターで開催しました。開会の挨拶の後、(株)エコロステーション渡邊結衣氏より「O&Mの取組み方」についてお話がありました。



(株)エコロステーション 渡邊氏の講義の様子

次に、国内唯一のフレキシブルパネルメーカーである(株)シルファインジャパン代表取締役米津壮一郎氏による、シートパネルを用いたリパワリング提案についての講演がありました。単結晶シリコン太陽電池を使用しながら「ペロブスカイトライク」な以下の特長を持った太陽光パネルです。

- ①軽量—ガラスモジュールの70%軽量
- ②ガラス・フレームレス「軽くて、薄くて、曲がる」
- ③低反射(光害対策)
- ④高い信頼性 (IP68水深1m・1hr)
- ⑤運搬性・施工性「薄くて・軽い」ので高所での取り回しが容易
- ⑥簡単施工独自工法 (両面テープ、接着剤)

次に、(一財)日本リボーン協会代表理事西泰行氏よりソーラーパネルのリサイクルに関して講演がありました。



(株)シルファインジャパン 代表取締役 米津氏



(株)日本リボーン協会 代表理事 西氏

「協会の設立は2022年8月8日、会員数は、194社。事業内容は、PVリボーンサイクル構築のための研究・開発です。使用済みパネルから新しいパネルへの新生 (Rebom) を通じ、ソーラーパネルのサーキュラーエコノミーの構築を目指しています。太陽光パネルの廃棄問題は、2035年以降に使用済みパネルの大量廃棄が発生し、ピーク時には80万tに達すると予測されます。太陽光パネルの約6割はガラスで構成され、ピーク時約50万トンのガラスが廃棄されることになります。太陽光パネルのリサイクルにおいて、このガラスのリサイクル方法の開発が大きな課題となっています」というお話でした。

最後に事務局より「2025年度審議会報告からみる2026年度の施策について」、「3月から変わる協会ホームページについて」の説明がありました。



集合写真

地区会レポート

関東地区会 東京都港区開催 (2026年3月6日)

参加者
30名

2026年3月6日 (金) 14時より、ビジョンセンターグランデ東京浜松町 (ルーム404) にて関東地区会をリアル開催いたしました。

冒頭では、高野エリアマネージャーより開会の挨拶があり、続いて新入会のNOFメタルコーティングス(株)菅野和明氏へ会員証が授与されました。



NOFメタルコーティングス(株) 高野エリアマネージャー 菅野氏

第1部は鶴田電機(株)技術部長 小林孝氏に「高圧自家消費の蓄電池設置について」と題した講演をしていただきました。産業用蓄電池システムと鶴田電機のシステム用切替盤OFGSシリーズにより、停電時も太陽光を活用できる「備えない防災」をかなえる一体型ソリューションについて解説していただき、低圧から高圧まで幅広い構成に対応する点についても紹介していただきました。



鶴田電機(株)技術部長 小林氏

第2部は「蓄電池自家消費について」と題し、暮らし環境(株)門司廣之氏にこれまで顧客の皆様に対してご提案されてきたエネルギー使用の効率化と非常時の有効活用についてご説明いただきました。



暮らし環境(株) 門司氏の講義の様子



(株)松原電機代表取締役 松原氏

第3部は「新電力の目線で見た蓄電池併設太陽光について」。(株)松原電機代表取締役 松原俊介氏に講師をお願いし、新電力が抱える電源調達や制度変更の課題に対し、蓄電池併設型太陽光が安定供給と収益多角化に寄与する点、容量市場・需給調整市場など、FITに依存しない新たな収益源についても検証していただきました。

第4部は「住宅太陽光・蓄電池の販売事例と補助金活用」と題し、(株)ライジングコーポレーション取締役 山川敦司氏に講演していただきました。OB顧客への定期点検を起点に、PCS交換や蓄電池大型化、北面パネル追加などのアップセル手法を紹介していただきました。EV普及を踏まえたV2H提案や東京都補助金を活用した大容量蓄電池の低負担導入など、収益性と顧客満足度を両立する戦略を共有していただきました。



(株)ライジングコーポレーション 取締役 山川氏

第5部は協会事務局より、2025年度審議会の報告および2026年度の施策方針について説明がありました。また、3月よりリニューアルした協会ホームページの概要も紹介いたしました。

情報交換会では、参加者同士が活発に交流し、現場の課題や最新動向について意見交換が行われ、盛況の内にお開きとなりました。



会場風景

地区会レポート

東北地区会 仙台市開催 (2026年3月10日)

参加者
43名

2026年3月10日(火)、「東北地方における営農型太陽光発電事業の最新動向と大手企業の取組み」を仙台市青葉区の仙都会館8階会議室にて開催しました。

東北地域における営農型太陽光発電の市場動向、政策の最新情報、大手企業の取組み事例を共有し、会員企業の事業検討および連携促進を目的としたものです。再生可能エネルギーの主力電源化が進む中、営農型太陽光発電は「農業の持続性確保」と「地域分散型エネルギー供給」を両立する手法として注目を集めています。特に東北地方は広大な農地を有し、再エネ導入ニーズも高まっている一方で、市場規模や将来性、需要家とのマッチングなど、事業化に向けた見通しがつきにくいという課題も指摘されています。

今回の東北地区会は、最新の市場概況や政策動向、大手企業の取組みを共有することで、東北地域における事業機会の解像度を高め、会員企業間の連携を促進することを狙いとしています。

地区会は佐々木エリアマネージャーによる開会のあいさつにより始まりしました。

最初の講演は当協会の馬上専務理事による「営農型太陽光発電の市況状況」。2本目の講演は東北電力(株)宮東氏による「営農型太陽光発電の取



トークセッション

組み」です。

この2本の講演を踏まえたトークセッションのテーマは、「東北地域における営農型太陽光発電事業の実装と展望」です。

登壇者：当協会専務理事 馬上丈司(司会・進行)
(株)パートナーズ 澤井仁氏

東北電力(株)宮東氏

中部ソーラーシェアリングやろまい会 北井久美
絵氏

トークセッション後のコメントは次の通りです。

北井氏

- ・中部地域での取組みを紹介しつつ、地域間の情報交換の重要性。

- ・東北地域との継続的な連携を希望。

- ・中部エリアの営農型に関心があれば連絡してほしい。

宮東氏

- ・まだスタートラインに立った段階であり、今後検討すべき点が多い。

- ・協会の取組みを聞き、農業分野の知見不足を実感。今後該当事業の解像度を高めていきたい。

澤井氏

- ・協会理事の立場として、東北電力の取組み姿勢を「心強い」と評価。

- ・協会は「健全な市場発展」を掲げて発足しており横のつながりが大きな価値。

- ・中小企業が事業を進める上で、全国の仲間の協力が得られることの意義。

馬上専務理事

- ・営農型太陽光は社会課題解決につながるソーシャルビジネスであり、将来的にスタンダードとなるよう挑戦を続けたい。

今回の地区会を通じ、東北エリアにおける営農型太陽光発電事業の現状と可能性について、多角的な視点から理解を深めるよい機会となりました。また、地域を超えたネットワーク形成や、連携強化につながる有意義な場となりました。



馬上専務理事



東北電力(株)宮東氏



会場風景

地区会レポート



中部地区会 名古屋市開催 (2026年3月12日)

参加者
25名

中部エリアマネージャー恩田氏による開会挨拶から始まりました。



恩田エリアマネージャー

第1部は中部会員のクラニッヒソーラー(株)粕谷雄介氏にご登壇いただきました。

【テーマ】

- ・リーススキームを活用したゼロ投資型自家消費発電の営業提案

- ・O&Mに役立つ旧型パネルサイズの互換性品について

リーススキームについてはご提案時からお客様(需要家様)にリースの利点をご説明していただけるようなので、営業動向も可能ということで資金調達が難点となっている需要家様にはよいご提案と思います。

参加者からはさまざまな質問があり盛況でした。



クラニッヒソーラー(株) 粕谷氏

第2部は中部会員で理事でもある重機商工(株)常務取締役 城所博氏にご登壇いただきました。

【テーマ】

- ・折半屋根施工～段取りから実際の施工の注意点 自身の体験談を中心にお話をいただきました。

参加者の多くが施工に関わっており、改めて現場における事前準備や段取りの重要性に共感を得たようでした。



重機商工(株) 常務取締役 城所氏

第3部は事務局報告で、3月から変わる協会HPについて説明しながら、2025年度の審議会によって2026年4月から変わる国の施策について説明がありました。

第4部は参加者により、お互いの近況や事業について意見交換を行い、別会場にて情報交換会を開催いたしました。



地区会全景

地域で創り、地域で使う
エネルギー循環をともに

(株)エイワット (近畿・北陸エリア会員)

「豊かな自然を、次の世代へ継承する」、弊社はこの信念のもと、鉄工所時代からつちかったハードウェアの技術力と再エネへの深い洞察を融合させてきました。現在、特に注力しているのは、自治体と連携した地産地消のエネルギー循環モデルの構築です。脱炭素先行地域におけるEPC事業を通じて、地域内でエネルギーが巡る自立した持続可能な社会づくりを支援しています。

弊社の強みは、開発提案から発電所運営までを手掛ける一貫通貫の体制です。この知見を活かし、全国35か所の自社発電所の運営、民間企業への太陽光設置や全国ネットのメンテナンス体制構築に邁進していますが、エネルギー循環を実現するには、一社の力だけでは限界があります。

そこで地域の特性を熟知したパートナー企業の皆様との連携を最重視しています。弊社の技術・運用ノウハウと皆様の機動力を掛け合わせ、官民プロジェクトをともに成功させたいと考えています。2000年代初頭から自然エネルギー普及に奔走し

た開拓精神を胸に、地域のパートナーとともに歩む「Think Globally Act Locally」の実践者として、再エネの未来を切り拓いてまいります。



・会社概要・

社名：(株)エイワット
所在地：大阪府堺市美原区多治井20-1
代表者：柴田政明
創業：1972年
主な事業：再エネ事業（EPC・O&M）IPP事業、製造/開発事業、AI/IOT事業、アグリ事業

農地と地球、二つの未来を守る
営農型太陽光発電

(株)スマートアース (東北エリア会員)

弊社は、太陽光発電の設計・施工会社です。住宅向け太陽光システムの販売と産業用太陽光のEPC事業を両輪として展開しております。

最も力を注いでいるのが、農業法人NGA株式会社とのパートナーシップによる営農型太陽光発電事業です。NGAは宮城県大崎市に本社を置き、総営農面積21万4,200平米にて食用米・飼料米・牧草・花卉類の生産販売を行う農業法人で、農地所有適格法人の認定を受け、大崎市・栗原市・登米市・加美郡の東北4エリアで認定農業者の資格を持っています。EPCを担うスマートアースと営農を担うNGAの二社一体の体制で事業を進めており、NGAが営農を担う発電所は宮城県北を中心に累計140件、総容量15MW、取得した一時農地転用許可は153件にのぼります。現在は低圧7MW、高圧4MWの営農型太陽光発電所を準備中です。

私たちがこれだけ営農型太陽光発電にこだわり、事業を拡大しようとしているのは、自分たちが生まれ育った宮城の農地を次の世代に確かな形で引き継ぎたいと願っているからです。担い手の高齢化や耕

作放棄地の増加は地域にとって切実な課題です。発電所を建てて終わりではなく、その下で農業がきちんと営まれ、収益が上がり、農地として生き続けること。そこに本気で踏み込めるのは、地元を根を張る私たちだからこそだと自負しています。



収穫した南天の箱詰

・会社概要・

社名：(株)スマートアース
所在地：宮城県仙台市青葉区本町2-10-33
第二日本オフィスビル8階 5号室南
代表者：鈴木義宣
創業：2023年
主な事業：産業用太陽光発電所開発、発電所O&M、ZEHスマートシステム・太陽光発電システム・蓄電池システム・オール電化システムの販売・施工

系統用蓄電所で次世代
エネルギーインフラを切り拓く
GXエンジニアリング(株) (関東エリア会員)

弊社は、2020年にTNK(株)として設立されました。

高圧設備工事を中心に、太陽光発電工事や電気工事をつちかしてきた技術力と施工実績を強みに、再エネ分野で成長を続けています。

現在、弊社が特に力を入れているのが「系統用蓄電所事業」です。

2025年より本格的に系統用蓄電所事業をスタート。着工実績は、2026年5月時点で20MW(80MWh)に達し、全国で用地取得・開発を積極的に進めています。

弊社の強みは、用地選定・取得交渉から、設計、施工管理、各種申請業務、さらに竣工後の運用・保守までワンストップで対応できることです。スピード感と確実性を両立した事業推進体制を構築しています。

2026年には社名を「GXエンジニアリング(株)」へ変更。「エンジニアリングの力で再エネ普及を加速させる」という使命を掲げ、日本を代表する再工

ネエンジニアリング企業を目指しています。土地開発からEPC、運用までを担う技術集団として、GXの実現に貢献していきます。土地・用地開発、EPCに関するご相談は、ぜひGXエンジニアリングへお問い合わせください。



・会社概要・

社名：GXエンジニアリング(株)
所在地：埼玉県さいたま市大宮区下町2-12-1
AXIS大宮イースト7F
代表者：小高将司
創業：2020年
主な事業：系統用蓄電所の開発事業、太陽光発電設備および蓄電池設備事業

発電設備を理解した
太陽光発電設備
点検調査の専門会社

BLUERAY(株) (近畿・北陸エリア会員)

弊社では、太陽光発電設備のO&M(運営・保守)事業を軸に、ドローンを活用したパネル調査・赤外線点検業務、およびドローン導入コンサルティングを全国で展開しております。

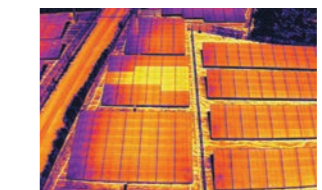
近年、FIT初期案件の経年化が進み、発電量低下やモジュール異常、ケーブル劣化など、設備保守の重要性が急速に高まっています。弊社では、赤外線カメラ搭載ドローンによる調査に加え、太陽電池モジュールやPCS、ストリング構成など発電設備全体の知識を活かし、「なぜ異常が起きているのか」まで踏み込んだ調査・分析を行っています。

特に、モジュールメーカーごとの特性や不具合傾向を踏まえた診断を強みとしており、単なる空撮や画像取得ではなく、「発電所診断」としての調査品質を重視しています。調査後には、改善提案や保守方針のご相談まで対応しており、発電事業者様や施工会社様から技術的なご相談をいただく機会も増えています。

また、ドローン導入を検討される企業様向けに

は、機体選定、法令対応、運用体制構築、教育支援など、実務を前提とした導入コンサルティングも実施しております。

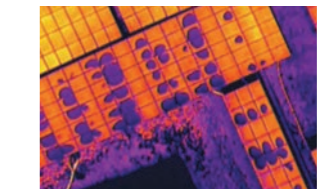
今後も「パネルメーカー知識×電気知識×ドローン技術」を融合した専門企業として、再生可能エネルギー設備の長期安定運用に貢献してまいります。



ストリングス異常



オプティマイザ異常



コールドスポット (左サーマル写真、右ビジュアル写真)

・会社概要・

社名：BLUERAY(株)
所在地：大阪府大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル9階 923-1220
代表者：岡田 卓也
創業：2000年8月8日
主な事業：省エネ工事（人に優しい自動空調制御システム E&E air solution）、電気工事・発電事業、保守管理メンテナンス事業、各種コンサルティング、広告代理業、不動産業、無人航空機（ドローン）関連事業他